

ザ・カハラ・クリーンプロミス

「ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜」の
新型コロナウイルス感染症予防策について

ザ・カハラ・ホテル&リゾート 横浜は、リゾートトラストグループ連携医療機関「日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニック」副院長・反頭裕一郎医師の指導・監修のもと、お客様、従業員、地域コミュニティの健康と安全を考慮した衛生管理強化を図り、「安心」「安全」を追求した感染予防対策によるサービスを提供いたします。



日本橋室町三井タワー ミッドタウンクリニック 副院長
反頭 裕一郎 (たんどう ゆういちろう) 医師

[経歴]

- ・2001年山梨医科大学医学部卒業
- ・ミッドタウンクリニック トラストクリニック等々力 元副院長
- ・トラストクリニック 元非常勤医師
- ・大月市立中央病院 元副理事長・元副院長

昨年度まで在籍していた大月市立中央病院は、「DMAT」(災害派遣医療チーム)を有する山梨県の災害拠点病院であり、在籍時にはダイヤモンドプリンセスへの「DMAT」の派遣指示を行う。また、新型コロナウイルス感染者の検査・治療経験もある。

弊社では創業以来「ハイセンス・ハイクオリティ」「エクセレントホスピタリティ」を追求し、常にお客様のために今、何ができるのかを考え、オリジナリティあふれる「リゾートライフ」をご提案してまいりました。

昨今の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大に際し、弊社は、WHO・厚生労働省ほか関係各所からの発表・指導などに基づき、お客様や従業員はもちろん、弊社ホテル近隣にお住まいの方や取引先の方、ホテルに関わる全ての皆様の「健康」と「安全」を最優先に考慮し、「お客様をお守りするプライベート空間」の提供に努めるとともに、「安心」「安全」のための感染防止対策および衛生管理の徹底に取り組んでまいります。

【ホテルの衛生管理強化】

- ・サービススタッフ (接客スタッフ) 全員の検温およびマスクの着用をいたします。
- ・お客様には、パブリックエリアでのマスク着用をお願いしております。チェックイン時にマスクをお持ちでないお客様にはお渡しいたしますのでお申し付けください。
- ・エレベーター、エスカレーター、トイレや階段の手すりなど不特定多数の方が触れる箇所を3時間に1度消毒巡回を行います。
- ・ご利用後の客室清掃時、手で触る可能性のある全ての箇所を完全消毒いたします。
- ・レストランやラウンジでは、ソーシャルディスタンスを確保し感染リスクを防止します。
- ・ホテルのエントランス、フロント、ラウンジ、レストラン、スパ、各コーナーに消毒液を設置します。
- ・全てのお客様へご利用時に手の消毒をお願いいたします。
- ・ホテルをご利用になるお客様へは、入館時にサーマルカメラによる検温を実施いたします。
- ・ご来館時に、感染防止対策上、必要に応じて「同意書」をご記入くださいますようお願いいたします。

【拡大防止のための事前確認】

ご予約時、またはご予約内容の確認連絡の際は、以下の項目を確認いたします。

1. 発熱（37.5℃以上）の有無
2. 風邪症状（鼻水・鼻づまり・咳・のどの痛み・たん・くしゃみ など）の有無
3. 呼吸器症状（咳・呼吸が苦しい など）
4. 味覚障害、嗅覚障害
5. 海外渡航履歴（14日経過 確認）

【「3つの密」を避けるために】

「密閉」、「密集」、「密接」を回避するために、以下の対応を行っております。

- ・チェックイン/チェックアウト手続きを行う際は、ソーシャルディスタンスを確保いたします。
- ・ご希望のお客様へは、お帰りの際にフロントにお越しいただくことなく手続きが可能な「エクスプレスチェックアウト」をご利用いただけます。
- ・フロントカウンターにアクリルボードを設置し、お客様とスタッフの飛沫感染を予防いたします。

GoTo トラベル対象プランをご利用の方は、割引の適用条件としてご利用者様全員の本人確認が必要となっております。ご来館時にご協力のほどお願いいたします。

【レストランのご利用について】

- ・レストランのお席はソーシャルディスタンス（着席した状態での周囲との距離およびテーブル間の距離各 1.5～2.0 m）を確保したテーブルの配置で感染リスクを防止します。
- ・レストランのテーブル・椅子はご利用ごとに、テーブル周辺の壁・床は営業前に除菌剤にて丁寧に拭き上げ、直接除菌いたします。また空間除菌対策として、ダチョウ抗体を配合した「V BLOCK Air」*で室内におけるウイルス対策をおこなっています。

* 「V BLOCK Air」

「V BLOCK Air」は、株式会社ジールコスメティックスがダチョウ抗体研究の権威・京都府立大学学長の塚本康浩教授と共同研究開発、ウイルスを不活化するダチョウ抗体を配合した新たな空間対策商品。

当社グループは販売代理店のウェルビー株式会社から購入しております。

- ・天井高が3m以下のレストランホールおよび全個室では、空調の吹出口・吸入口にダチョウ抗体を配合した「V BLOCK Air」を噴霧し、空間の抗菌をおこないます。また、全個室にはプラズマ放電の一種であるストリーマ放電機能を搭載した空気清浄機を設置し、室内でのウイルス対策をおこないます。

※ストリーマ技術について

ダイキン工業株式会社は、当社独自のストリーマ技術の新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）およびマウスコロナウイルス（MHV-A59）に対する不活化効果を東京大学大学院 農学生命科学研究科 久和茂教授、岡山理科大学 獣医学部・微生物学 森川茂教授らの研究グループと共同で実証しました。

当社は2004年よりストリーマ技術の効果検証として、ウイルスでは鳥インフルエンザウイルス（A型 H5N1）やRSウイルス、マウスノロウイルス、細菌では大腸菌や緑膿菌、アレル物質ではスギ花粉やカビ・ダニのフンや死骸など60種類以上を公的機関にて実証してきました。今回新たに、ストリーマを3時間照射することにより新型コロナウイルスおよびマウスコロナウイルスが99.9%以上不活化することが確認できました。

- ・ご希望のお客様へは、テーブルに除菌用アルコールをお持ちいたします。
- ・営業前・営業終了後にはレストラン内の換気をおこない、空気のリフレッシュを実施します。
- ・ご希望のお客様へは、テーブル上に飛沫防止用アクリルボードの設置をおこないます。

- ・夕食や朝食をお部屋にお届けするインルームダイニングも24時間ご利用いただけます。
- ・ご予約状況により、レストランでのお食事のご利用をお断りする場合がございます。

【ホテルのゲストエレベーター】

- ・エレベーター内の壁、ボタン、手すりなど不特定多数の方が触れる箇所を3時間に1度消毒巡回を行います。
- ・ソーシャルディスタンスを確保するため、ご利用人数に制限を設けさせていただいております。またお客様同士のご利用の際にもご協力をお願いしております。

【客室清掃について】

通常清掃に加え、お客様の手などが触れる可能性の高い箇所を除菌剤で丁寧に拭き上げます。

- ・除菌剤による拭き上げ箇所

<室内>

ドアノブ、取手、手すり、電気スイッチ、テーブルの上、ごみ箱、タブレット、空調操作パネル、ハンガー、テレビリモコン、金庫、電話機など

<バスルーム>

取手、手すり、シャワー、蛇口類レバー、自動給湯パネル、床、壁、各種アメニティなど

<トイレ>

トイレ操作パネル、便座、トイレットペーパーホルダーなど

- ・全客室に空気清浄機をご用意しております。追加でのご要望がございましたら、客室係までお申し付けくださいませ。数に限りがございますので、ご要望に応じきれない場合はご容赦願います。

【スパのご利用について】

スパは、お客様のご利用状況に応じて入場を制限する場合がございます。また、スパ内ロッカーは、他のお客様と一定の距離を保ってご利用になれるよう配慮いたします。ご利用後のロッカーは必ず消毒いたします。なお通常設置している化粧水やヘアトニックなどのアメニティ類は一時的に撤去いたしますが、ドライヤーはご利用になれます。レストランなどと同様に、消毒液を設置し、定期的な巡回消毒も実施いたします。

『ロッカーの密』対策

- ・ソーシャルディスタンスに配慮した間隔を空けてのロッカーキーの受渡し
- ・ロッカーの使用ごとの消毒実施

『プールサイドの密』対策

- ・デッキチェア・椅子のソーシャルディスタンス（1.5m～2m）を確保した配置
- ・デッキチェア・椅子の使用ごとの消毒実施

『プール槽内の密』対策

- ・人数制限を実施（ソーシャルディスタンスを保つための人数制限）
※プール面積÷4㎡=1度に入場できる人数
※FIA（日本フィットネス産業協会）の対応ガイドラインに従い、プール内2mの距離（2m×2m=4㎡）を保てる人数を施設ごとに設定
- ・スタッフによる、プール内での「密状態回避」の声掛けの励行

『共有物の対策』

- ・出入り口・パウダールームの消毒液設置
- ・共有物の撤去（ドライヤー以外）
※ご希望によりヘアブラシをお渡しいたします。
- ・プールのトイレ・ドアノブ等のパブリックの不特定多数が使用する箇所の定期巡回消毒

【ラウンジのご利用について】

ラウンジのお席は、ソーシャルディスタンスを確保し運営いたします。

またテーブル・椅子は、ご利用ごとに除菌剤にて丁寧に拭き上げ、直接除菌いたします。

なお、お客様のご利用状況に応じて入場を制限する場合がございます。

【各付帯施設の混雑状況をスマートフォンでもご確認いただけます】

スパ・ラウンジ等、付帯施設の混雑状況を客室 IP テレビやお客様のスマートフォンで確認できる「混雑状況確認システム」を導入しています。

【清掃用品と手順】

当ホテルでは、厚生労働省のガイドラインを基にした清掃用品の使用、清掃手順を用いております。清掃業者やサプライヤーと協力し、清掃用品や必要な感染防止用備品の確保に努めております。

【従業員の感染拡大防止および衛生管理強化】

すべての従業員に対し新型コロナウイルス感染症の安全と衛生に関するトレーニングを、実施しております。

検温

- ・出勤時のサーマルカメラによる検温義務（全従業員へ実施）

手洗いの実施

- ・ウイルス拡散防止のため、従業員に対し石鹸を使用した 30 秒以上の手洗いならびにアルコール消毒を適宜行うように指導しています。

消毒

- ・バックヤードの 3 時間ごとの消毒巡回
- ・バックヤードの手動扉全箇所ならびに従業員が使用する各所に消毒液設置
- ・通用口・トイレ・従業員食堂利用時の消毒義務（全従業員へ実施）
- ・従業員食堂の定期的な厨房消毒実施

ソーシャルディスタンス

- ・従業員はお客様と少なくとも 1.5 メートルの距離を保つようにいたします。（エレベーターなど距離が取れない場所を除く）

教育

- ・従業員に対し、新型コロナウイルスの感染症の安全と衛生に関する基準のトレーニングを実施します。
- ・全従業員に対し業務の役割や内容に応じて、適切な感染予防備品の着用と正しい廃棄方法のトレーニングを行っております。
- ・勤務時間外、不要不急の外出を自粛
- ・バックオフィス各所に健康と安全に関する案内を掲示しており、定期的な更新を実施いたします。従業員食堂やロッカールーム、ユニフォーム保管庫、お手洗い、休憩スペース、キッチン、倉庫、各オフィスには消毒液や清掃用具を設置し、衛生管理をしております。

感染予防備品

- ・全従業員に対し、勤務中のマスク着用を義務付けております。ハウスキーピングやパブリックエリア清掃の従業員は手袋を着用いたします。

共有備品

従業員用の共有備品は、使用ごとに消毒を行います。電話、無線機、パソコン、タブレット機器、ネットワークデバイス、決済端末機器、キッチンの備品、清掃用具、工具、鍵、時計などホテル内で使用しているすべての備品が対象です。

※上記情報は、2020 年 9 月 1 日現在のものです。

※掲載内容は、随時変更する場合があります。